

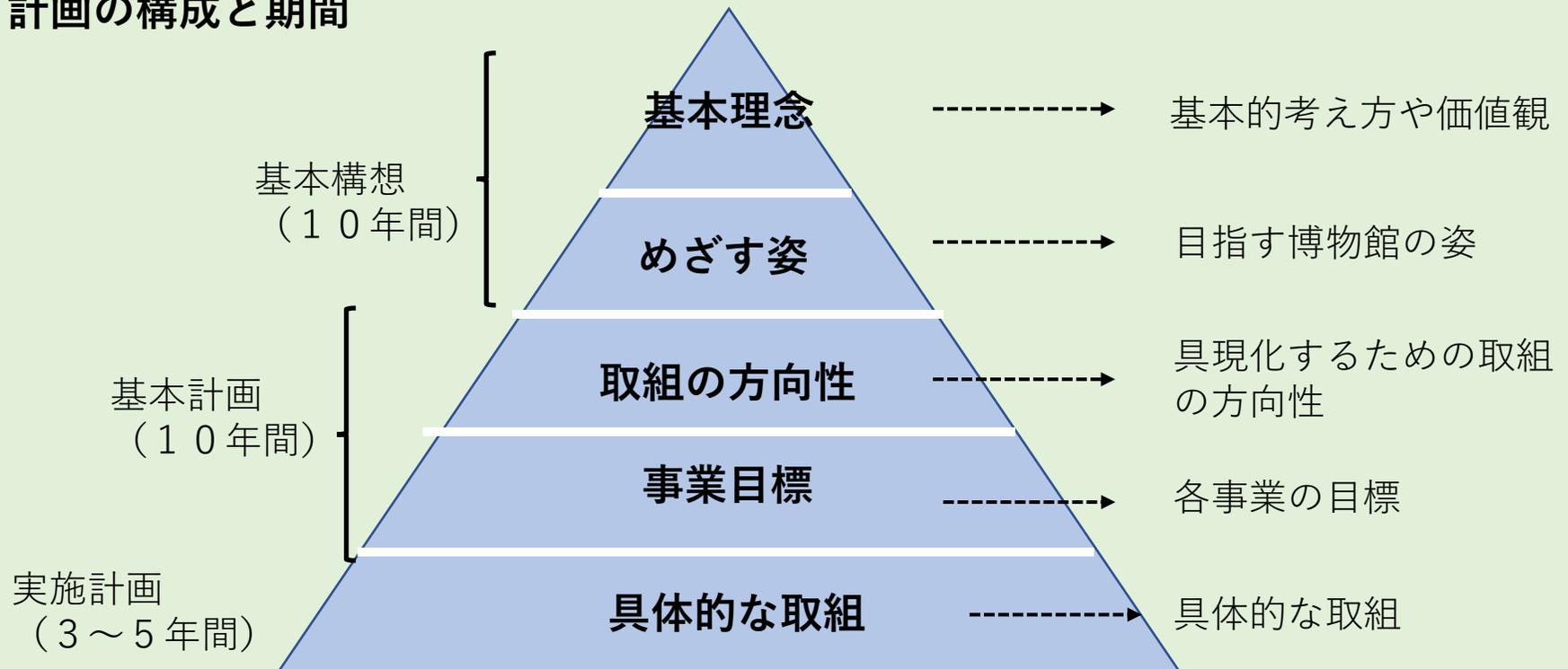
千葉県立中央博物館リニューアル基本計画の策定について

1 計画策定の基本的な考え方

(1) 計画策定の趣旨

県は、資料保護と県民の文化的生活の向上を目的として、複数の地域館と総合センターとなる中央博物館、美術館を設置した（千葉県の博物館設置構想（昭和48年））。その後、市町村立館の増加や博物館の役割の多様化等の社会状況の変化を受け、県立館の在り方を見直し、中央博物館は地域館の機能を集約し、強化する方針を定めた（県立博物館の今後の在り方（令和2年））。これを踏まえ、今後の中央博物館運営の基本方針となるリニューアル基本計画を策定する。

(2) 計画の構成と期間



千葉県立中央博物館リニューアル基本計画の策定について

2 計画策定の背景

(1) 千葉県立博物館の今後の在り方策定（令和2年9月）

○今後の県立博物館の役割や方針について整理

- ・全県域を俯瞰した資料収集・保管、調査・研究、教育・普及等を行うとともに、県の魅力、県民の誇りとなるような文化・自然等の発信・紹介に努める。
- ・地域史と特定テーマを扱う博物館を中央博物館に機能集約する。

(2) 千葉県立中央博物館機能強化実施方策策定（令和5年3月）

○「千葉県立博物館の今後の在り方」に基づき、中央博物館の強化すべき機能を次の3つに整理した。

- ①総合博物館としての高度化 ②地域連携ステーション ③アーカイブセンター

(3) 博物館法の改正（令和5年4月）

○社会教育法に加えて文化芸術基本法に基づくことが定義され、博物館事業（調査研究、資料収集、展示、教育普及）に以下の事業が努力義務として追加された。

- ①他機関との連携や支援を行うこと
- ②地域振興、観光振興へ貢献すること
- ③デジタルアーカイブ化を強化すること

千葉県立中央博物館リニューアル基本計画の策定について

3 博物館を取り巻く社会情勢

(1) 社会環境の変化

- ・人口減少、少子高齢化
- ・市町村立館の増加を受け、地域で県立館に求められる役割が市町村立館への支援に変化【在り方】
- ・生涯学習社会の進展により県民の学びが多様化【在り方】
- ・博物館法改正において文化芸術基本法の本質にも基づくことが定義された

(2) 県立博物館の現状と課題【在り方一部改変】

		従来の博物館事業				博物館法改正で追加された博物館事業		
		調査・研究	収集・保管	展示	教育・普及	地域連携	地域振興	デジタル化
現状	地域館： 設置目的・専門性に基づく調査研究 中央博物館： 外部資金（科研費等）を活用した研究	<ul style="list-style-type: none"> ・収集資料（自然系）が87.3%（R2時点） ・収蔵庫狭隘化 	<ul style="list-style-type: none"> ・入場者の多くは高齢者で若年層が少ない ・常設展示が未更新 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習キットや独自の学習プログラムを活用した学校教育支援 	<ul style="list-style-type: none"> 【展示→】市町村立館への支援体制が未整備 【収集・保管→】資料救済ネットワークの拠点 	<ul style="list-style-type: none"> 【教育・普及→】立地する周辺の地域・観光振興との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 【新規追加】資料データベースを作成・公開 ・デジタルコンテンツの作成・提供 	
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職員の技術継承、後継者育成 ・一層の研究成果等の公開 	<ul style="list-style-type: none"> ・収蔵スペースの確保 ・県域の人文系資料の収集が不十分 	<ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる世代への利用拡大 ・常設展示の再構成とICT技術の導入 ・県民へのわかりやすい還元 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員向けプログラムや時事的話題に即応した情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> 【展示→】市町村立館への安定的な支援・協力体制の整備 【調査・研究→】県民参画の共同研究の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 【教育・普及→】連携・支援地域の全体的な広がり 	<ul style="list-style-type: none"> 【新規追加】博物館事業のDX化の推進

千葉県立中央博物館リニューアル基本計画の策定について

4 これからの県立博物館の役割と取組の方向性

(1) 再確認し、大切にしたいポイント【博物館設置構想】

- 各種資料を収集・研究し、県民の利用に供することで、文化的向上に資すること
- 県域を俯瞰した博物館ネットワークを確立し、全県民が博物館を活用できるようにすること

(2) 「在り方」を踏まえた中央博物館の位置づけの変化【在り方】

- 自然誌主体の博物館から自然系・人文系両分野が融合した活動を展開する館へ。

(3) 博物館法の改正により、今後の博物館に求められる視点【改正博物館法】

博物館の事業として、従来の4つ（①調査・研究、②資料収集・保管、③展示、④教育普及）に加えて3つ（⑤地域連携、⑥地域振興、⑦資料のデジタル化）が追加された。



今後の中央博物館はこれまでの機能を維持しつつ、以下の機能を強化【実施方策】

- ①総合博物館としての高度化（自然系・人文系共に強く、両者が融合した活動の展開）
- ②地域連携ステーション（県内博物館の拠点となり、地域連携や地域振興に貢献）
- ③アーカイブセンター（資料のデジタル化の促進や一元管理の実現）

千葉県立中央博物館リニューアル基本計画の策定について

5 中央博物館リニューアル基本計画の基本的な考え方

基本理念

<中央博を運営するための基本的な考え方や価値観>

キーワード：半島性

めざす姿

<10年後の中央博の姿>

知の創造拠点・県内の博物館活動の拠点となる博物館【在り方】

千葉県の自然や歴史・文化を守り、伝え、新たな知見を創造し、情報を発信します。この活動をとおして人材を育成し、県民の学習および地域づくりを支援します。

- 調査・研究を基に、新たな資料の価値を発見し、千葉県の自然や歴史・文化に関する資料を収集・保存して、後世に伝えます。
- 資料や調査・研究の成果を知的資産として蓄積し、その情報を発信することによって県民と共有し、文化および科学の発展に寄与します。
- 県民に専門性や体験を重視した生涯学習の機会を提供し、自然や歴史・文化を愛する人材を育成します。
- 博物館は地域の核となって、まちづくり、地域文化振興、地域おこしといった地域づくりを支援します。
- 県の良さ・魅力を伝える、県民の郷土への愛着と誇りを育みます。
- 全県域を俯瞰した資料の収集、展示、教育普及、情報発信を進め、市町村立博物館等を支援します。

県域を俯瞰した総合性の視点で、様々な事業を通じて県民の郷土意識の醸成を図るとともに、県内各地にみられる文化・歴史・自然・産業等に係る多様な資料について地元での活用が進むよう、関係機関と一層の連携を図る

千葉県立中央博物館リニューアル基本計画の策定について

5 中央博物館リニューアル基本計画の基本的な考え方（取組の方向性）

<めざす姿を実現するための取組の方向性> 「つながり」を核として整理

●在り方 ○実施方策 ★新

<p>分野をつなげる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●専門職員の集約化による自然科学系、人文科学系及び両者を融合した学術研究 ●自然科学、人文科学双方の研究に関連した資料の収集 ●人文科学系分野の充実と、自然科学系の優れた部分を生かしつつ、両者を合わせた総合展示室へリニューアル ●広域的なテーマの調査研究 ○全県的な自然系・人文系資料を対象とし、両者の融合により調査・研究を進め、海の博物館を含めた「総合博物館」としての完成を図る
<p>地域をつなげる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●県内の市町村立博物館等に対する調査・研究、資料活用、教育普及面での支援 ●博物館資料救済ネットワークにおけるセンター館としての情報収集・資料救済 ●大学、企業等を含めた幅広い連携・協力のもとで支援 ○博物館（県立、市町村立、私立）と地域（市民、大学、企業等）をつなぐハブ機能としての役割を果たす ○非常時における博物館の被害状況の情報収集・資料の救済
<p>情報をつなげる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●研究成果のわかりやすく迅速な公開・発信からの新たな知の創造へ ●資料の一元管理とデジタル化による文化資源情報充実 ○全県立館の博物館資料を一元的に管理する ★あらゆる人が千葉の魅力に触れることができる環境づくり
<p>人をつなげる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●県民参加・協働型の調査・研究 ●ミュージアムショップとレストラン等の魅力アップ ●いつでも楽しく学べる展示と県内外へのわかりやすく魅力的な展示と発信 ●様々な年代の県民の学び・レファレンスへの迅速で充実した対応 ●県民ニーズに基づいた、県の魅力、県民の誇りとなるテーマの講座等 ★中央博物館に県民や専門家が集まり、新たな協働活動が生まれる仕組み作り ★企業・大学等とともに高度な専門性のある内容の活動を展開
<p>未来へつなげる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○市町村立博物館等への支援 ★県民の多様な学習に貢献し、次世代の育成を支援 ★これまでの千葉県立博物館の活動成果（調査研究成果や収集資料）の活用・保存、未来への継承 ★研究・学び・交流の拠点として県民とともに発展しつづける ★長期的視点での活動 ★専門職員の育成

千葉県立中央博物館リニューアル基本計画の策定について

5 中央博物館リニューアル基本計画の基本的な考え方（事業別の目標）

<各事業の目標> 改正博物館法で定義されている①～⑦の博物館事業を柱に目標を設定

●在り方 ○実施方策 ★新

	①調査・研究	②収集・保管	③展示	④教育・普及	⑤地域連携	⑥地域振興	⑦デジタル化
分野をつなげる	●○自然系・人文系・両者を融合した研究 ●広域的なテーマの研究	●自然系、人文系双方の資料収集	●○自然系、人文系のバランスのとれた常設展示	★自然系、人文系両分野の講座等の充実	●大学や企業等幅広い分野での連携	●幅広い分野での連携	★博物館事業のデジタル化の推進
地域をつなげる	●県域を俯瞰した研究 ●県民参加・協働型の研究	●災害時等の他施設資料の救済体制整備 ○収蔵資料の貸出強化	○巡回展示等の実施 ★地域の魅力を発信する活動	●学習キット等の開発 ★地域に足を運ぶ観察会等	●県内博物館ネットワークの拠点	★県民参加・協働型の活動 ★県内に足を運ぶ仕掛け作り	○県内博物館資料の一元化
情報をつなげる	●成果の迅速な公開・発信 ●レファレンスサービスの強化	●県を俯瞰した資料の一元管理 ●デジタル化による文化資源情報の充実	●わかりやすく魅力的な展示と発信	○デジタルコンテンツの充実	★構築したネットワークを活用した情報発信	★各地域の魅力を発信し、県民に還元	★活用しやすいコンテンツ充実 ★アクセスしやすいツール活用
人をつなげる	●県民参加型の研究 ★協働を生む専門性の高い研究	★収蔵資料の活用 ★貴重資料の収集・活用	●いつでも新しく楽しく学べる展示 ★県民のニーズの応える展示	●県民のニーズに応えるテーマの講座 ●異なる年代が交流する講座	★学芸員と県民・外部専門家をつなぐ活動 ★県民同士をつなぐ活動	★県内の人材や施設を繋ぎ、県内活動を活性化	★zoomなどオンラインツールを利用した研修等
未来へつなげる	●継続的な研究 ★最先端の研究 ★専門職員育成	★収蔵資料継承 ★寄贈・寄託資料等の受入れ ★専門職員育成 ●収蔵庫整備	●可変性、柔軟性のある展示 ★未来を考える機会になる展示 ★専門職員育成	●次世代を担う年代の学びに応える活動 ★専門職員育成	●○市町村立をはじめとする県内博物館への支援	●各地域の新たな魅力の創造	★コンテンツ等の持続的な運営体制の確立

千葉県立中央博物館リニューアル基本計画策定業務の進め方

6 進め方のイメージ

